

アセットマネジメント計画策定に向けた
市民フォーラム

公共施設のミライ

～ミライへつなごう、みんなの公共施設～



令和7年 7月28日(月) ・ 関戸公民館 19～21時
8月 3日(日) ・ 中央図書館 10～12時



用用 これまでの取組



策定の背景(平成25年11月策定)

これまでに短期集中的に多くの公共施設を整備

少子化・高齢化が進むと、社会保障費増・税収減

一斉に更新時期を迎える施設の財源確保が課題

多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム

目的

- 安全に使い続ける
- 施設全体のダイエット
- 時代のニーズに合わせた施設への機能転換

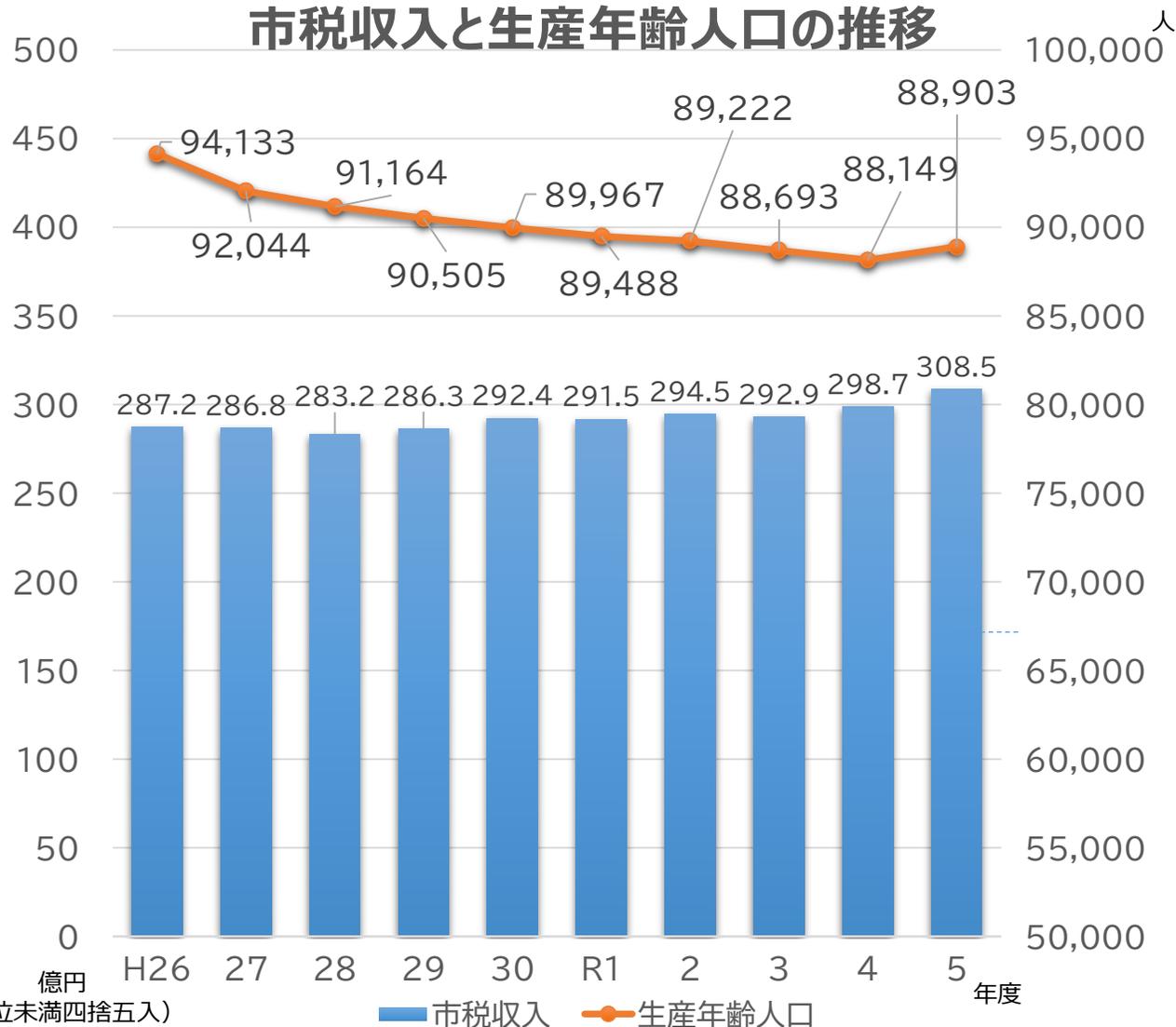
プログラム期間(計画年度) : 10か年(H26~R5)

施設ごとの対応方針を、~H27をステップ1、~R5をステップ2、
R6~をステップ3に分けて取組を実施

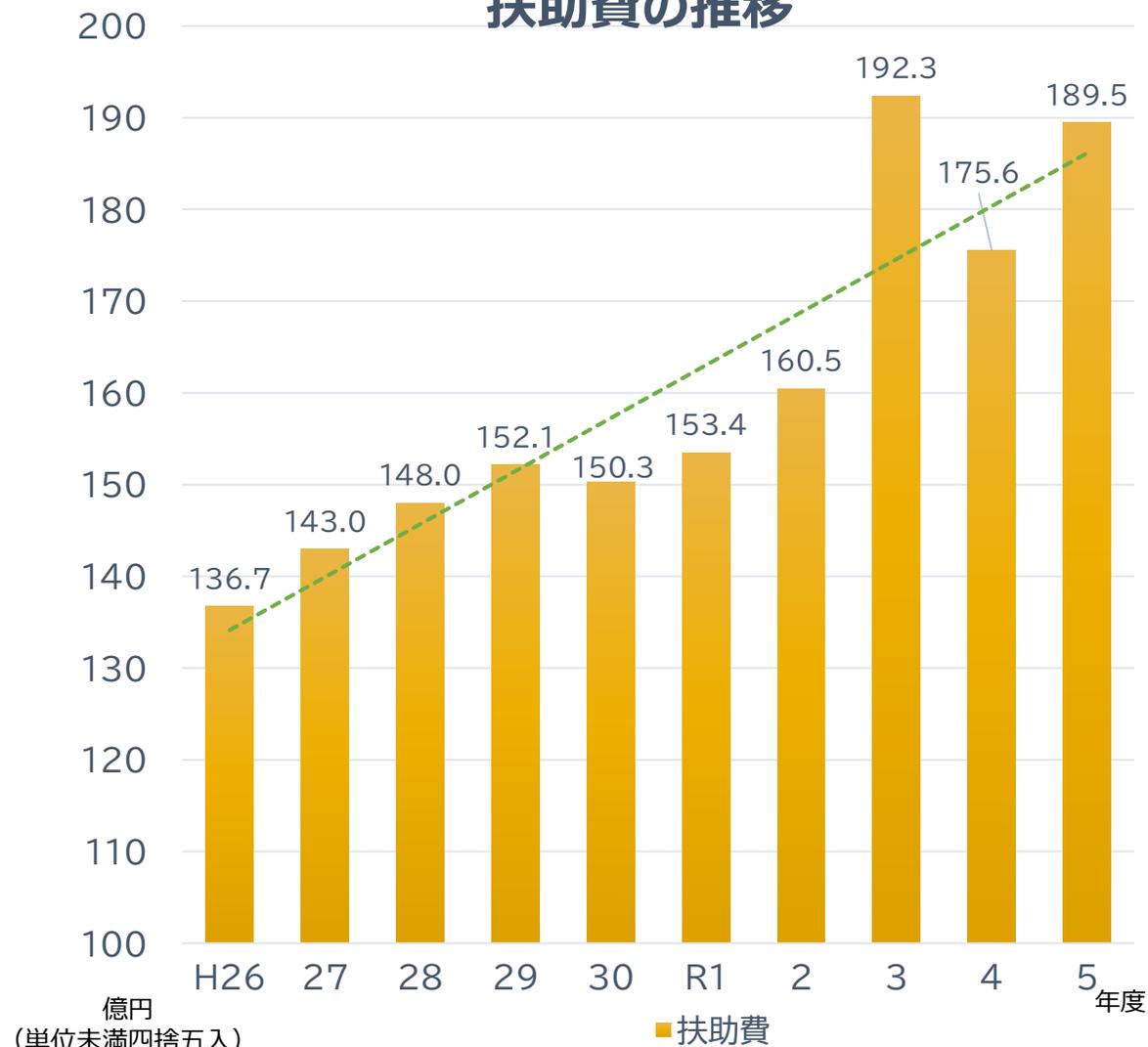
計画額(目標額) : 90億円

多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム

市税収入と生産年齢人口の推移



扶助費の推移



※: 地方財政状況調査(H26~R5) 及び 統計たま(R5)を元に作成

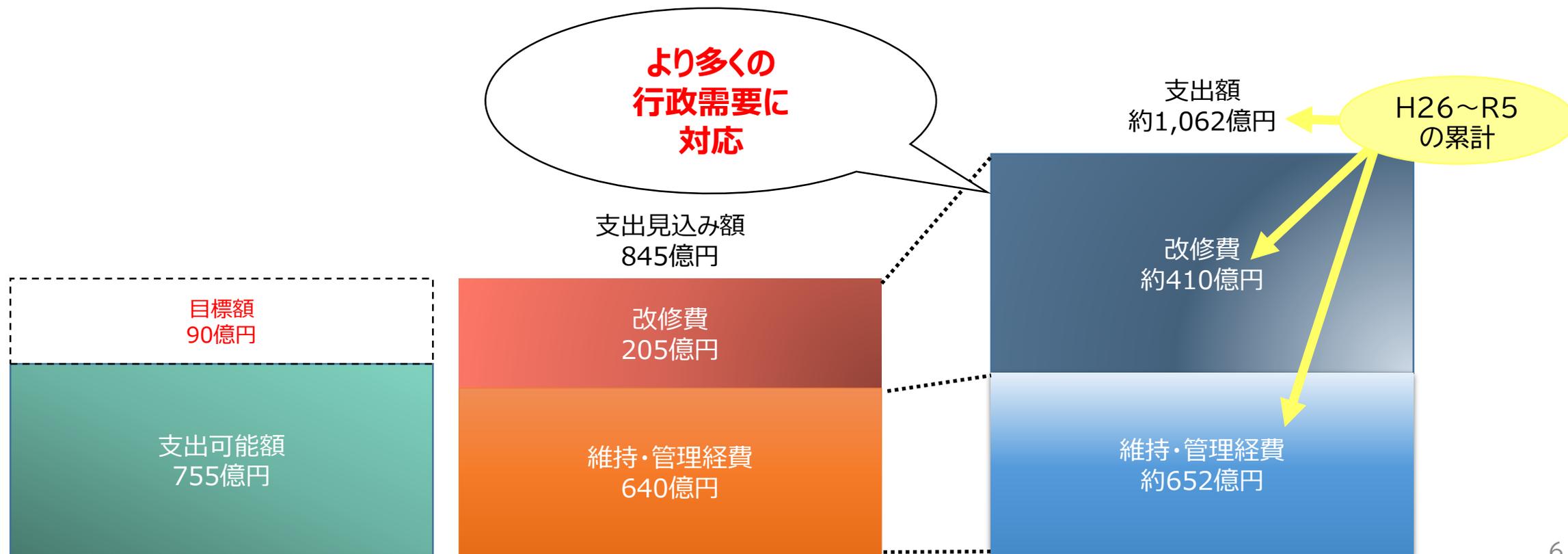
多摩市公共施設の見直し方針と行動プログラム

プログラム期間（計画年度）：10か年（H26～R5）

計画額（目標額）：90億円

・755億円・・・公共施設に支出できる額（地方債、国都補助金等を最大限活用した場合の試算額）

・845億円・・・公共施設にかかるとして試算した経費の合計（策定当時のすべての施設を存続した場合の維持管理費、運営費、改修費）



これまでの取組

学校跡地の機能転換

南豊ヶ丘フィールド (旧南豊ヶ丘小学校)

- ◆ 旧南豊ヶ丘小学校をスポーツや健康づくりの場として整備し、災害時には防災避難所として使用できるようにしました。



市民活動・交流センター、多摩ふるさと資料館 (旧北貝取小学校)

- ◆ 旧北貝取小学校を改修し、コミュニティやサークルの活動・交流を行う「市民活動・交流の場」及び文化財の収蔵展示や体験学習ができる「文化財の収蔵等機能」を備えた施設に転換しました。



これまでの取組

都市計画税の活用

パルテノン多摩

多摩市立中央図書館

- ◆ 都市計画税の用途の拡大について、議会とともに国や都に要望してきました。その結果、パルテノン多摩や多摩市立中央図書館、多摩中央公園の整備の財源として活用できることとなりました。



これまでの取組

Park-PFI事業

多摩中央公園

- ◆ 多摩中央公園の改修整備と運営は民間活力を導入し、長期的な管理・運営が可能となり、より魅力のある公園として再整備しました。



グリーンインフラ・公民連携

聖蹟桜ヶ丘かわまちづくり

- ◆ 聖蹟桜ヶ丘駅北地区の低未利用地にせいせきカワマチ（多摩川河川敷芝生広場・キッチンカー駐車場）を整備し、河川敷等を起点にまち全体に賑わいを創出しています。



- ◆ 協議会の構成団体から、エリアマネジメント団体を組成。公民連携により持続可能な管理運営体制の構築に取り組んでいます。



用用 今後の多摩市



多摩市を取り巻く環境等の変化

<地球温暖化>



多摩市気候非常事態宣言

気候変動は、私たち人類とすべての生き物にとって避けることのできない緊急事態です。

世界では、2015年にパリで開催された国連気候変動枠組条約締結国会議の約束事として、産業革命前と比べて平均気温の上昇を2℃以内に抑えること、さらに1.5℃に抑える努力をすることが掲げられています。

しかし、世界の平均気温は、産業革命前と比べてすでに1.1℃上昇しています。

世界では、もはや「気候変動」ではなく、すべての生物にとって生存が危うい「気候危機」と表現されるようになり、これを防ぐためには、この10年の取組が必要であると言われています。国内でも大型台風等による災害が繰り返し起こり、昨年は多摩市でも台風19号によって、市民のみならず避難を余儀なくされ、いままでもここ別の世界の出来事と思っていたことが、私たちの身のまわりでも起きはじめました。これからはさまざまな災害が拡大して起きるおそれがあると言われています。

これは温室効果ガスの増加に伴う地球温暖化による影響で、すでに疑う余地のない状態です。

この問題を解決していくためには、温室効果ガスの最も大きな割合を占める二酸化炭素を排出しない社会にしていかなければなりません。そのために、電気やガスなどのエネルギー使用の節約や、再生可能エネルギーへの転換を進めるとともに、使い捨てプラスチックの使用を削減し、資源の有効活用を図ることで、持続可能で地球に優しいライフスタイルを取り入れた社会に向かうよう取り組めます。

また、気候変動は生態系も脅かします。生態系を育む生物多様性が豊かであれば、気候変動による影響を緩和し、もとの自然環境に戻してくれる調節機能を持ちます。二酸化炭素を排出しない社会にしていくと同時に、生物多様性も保全していく必要があります。

この思いを実現していくためには、私たち一人ひとりがこの気候の危機を「自分のこと」として考え、全員で共有して、二酸化炭素の削減に取り組む必要があります。私たち一人ひとりの取組は小さくても、市民全員の力が合わされば大きな成果を生み出します。

多摩市及び多摩市議会は、地球温暖化の対策に全力で取り組めます。そして、国連で採択されたSDGsによる持続可能な社会の実現のため、ここに気候非常事態であることを宣言します。

1. 「気候危機」が迫っている事実を市民全員と共有し、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指します。
2. 資源の有効活用を図り、使い捨てプラスチックの削減を推進します。
3. 生物多様性の大切さを共有し、その基盤となる水とみどりの保全を積極的に推進します。

令和2年6月25日

多摩市長 阿部 裕行

多摩市議会議長 藤原 正和

多摩市を取り巻く環境等の変化

< 自然災害の激甚化 >

一ノ宮公園 庭球場
被災前



被災後

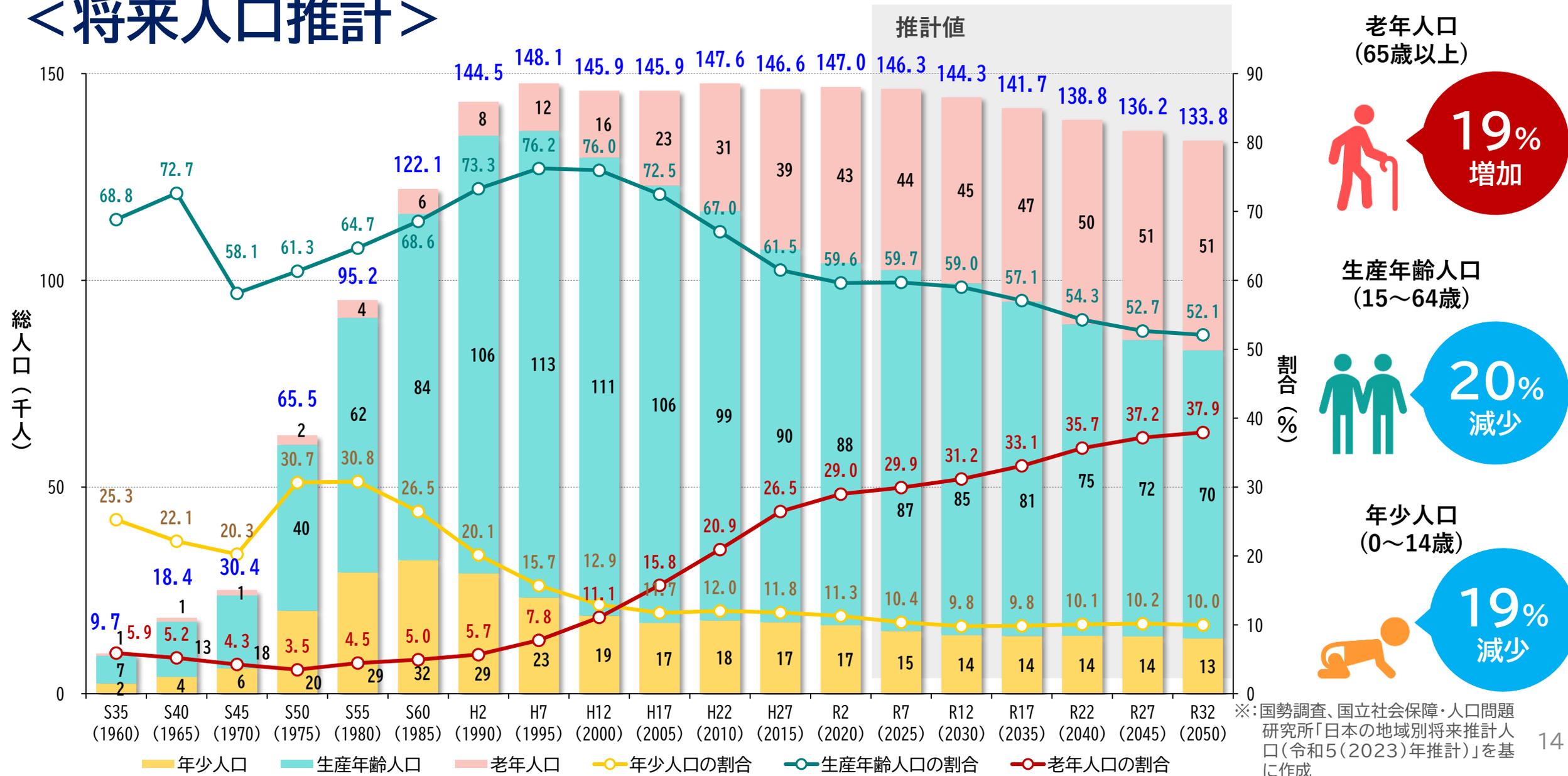


令和元年台風第19号
(市内施設の被害の一部)



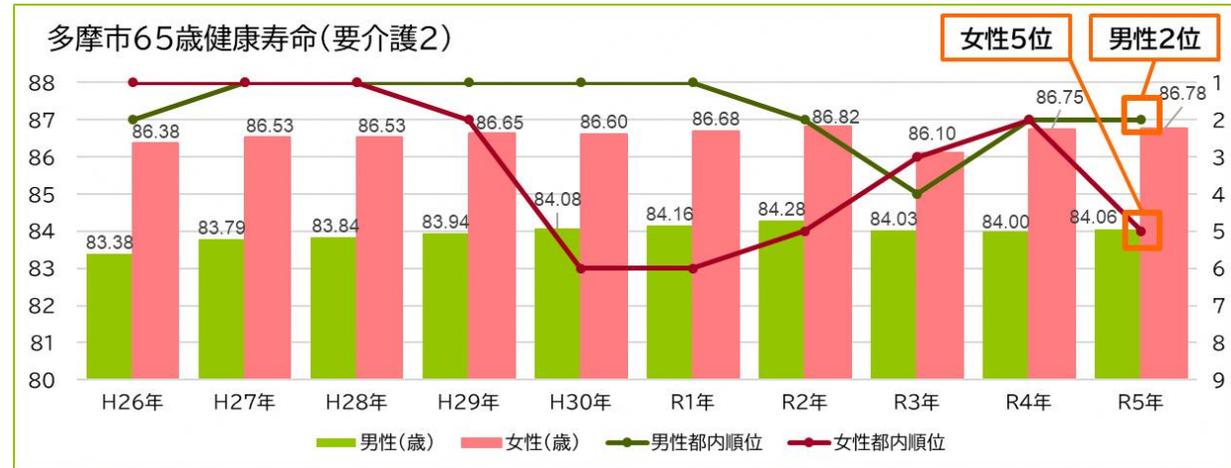
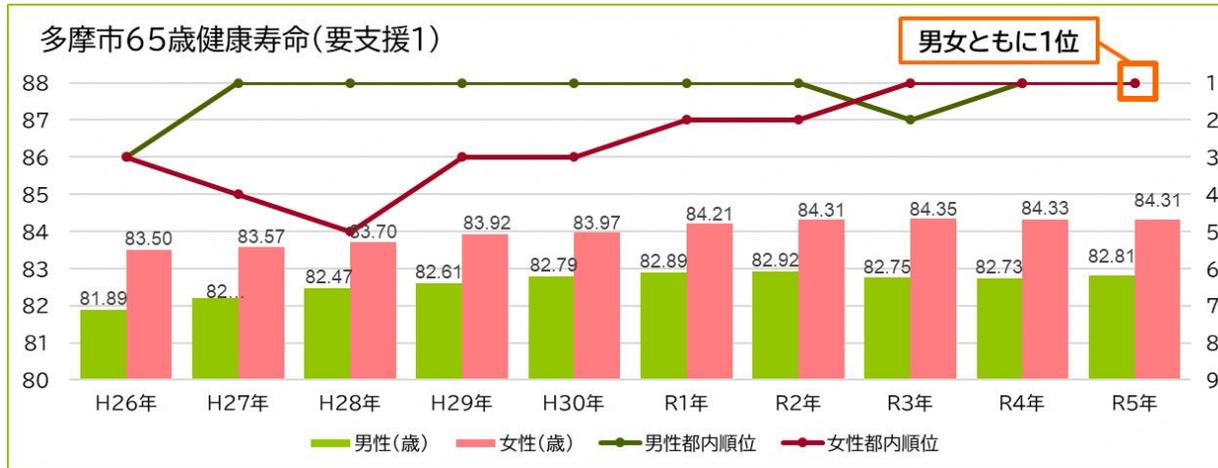
多摩市を取り巻く環境等の変化

<将来人口推計>



多摩市を取り巻く環境等の変化

<多摩市は元気な高齢者が多いまち>



東京都平均と比較して65歳健康寿命※1が長く、支援を必要とする期間も短いことが示されており、健康寿命は都内トップレベルです。

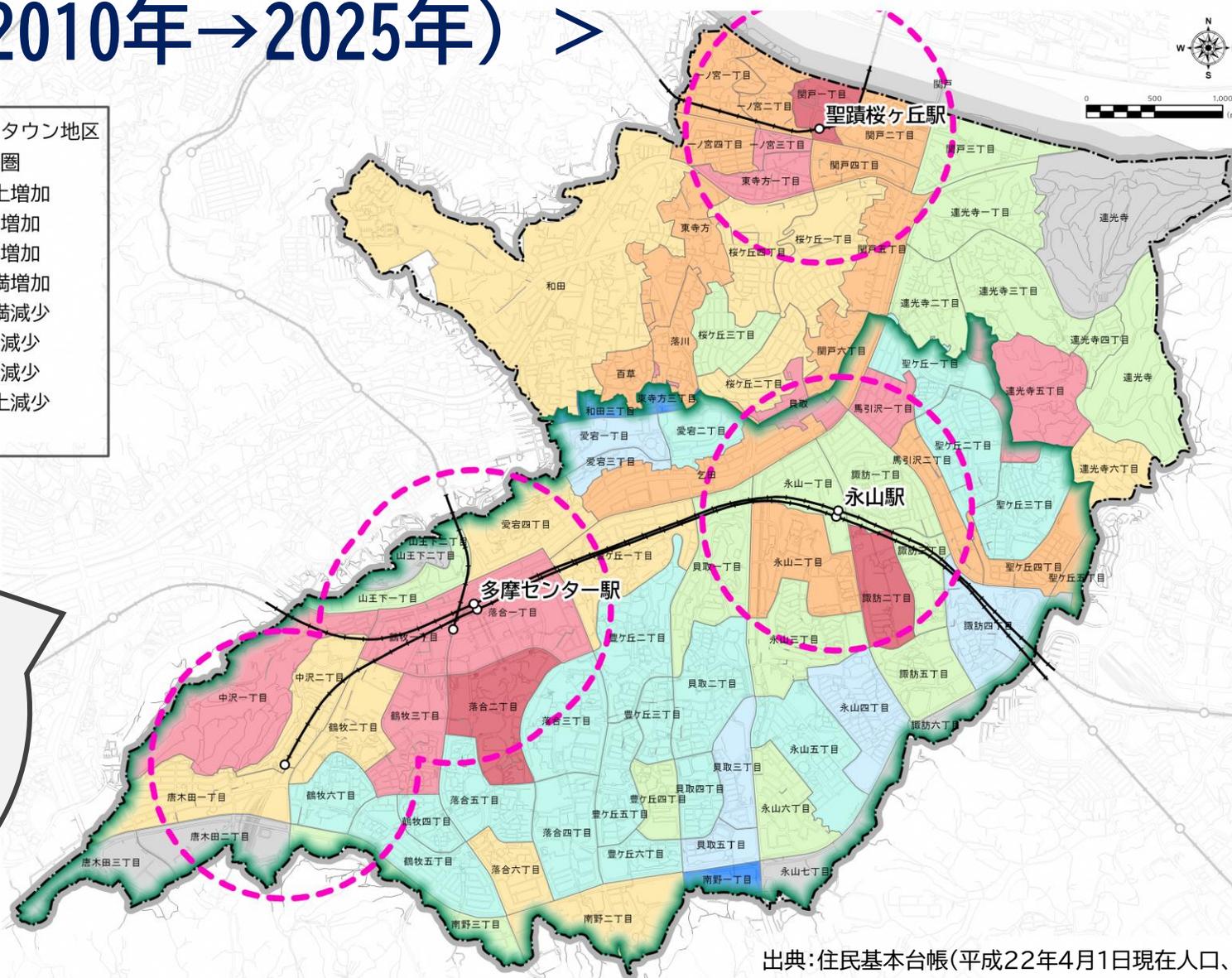
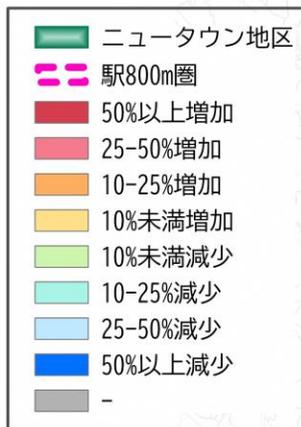
※1 「65歳健康寿命(要支援1・要介護2)」は、65歳の方が、要支援1※2または要介護2※3以上の認定を受けるまでの状態を「健康」と考え、その認定を受けた年齢を平均的にあらわすものです。

※2 基本的な日常生活はほぼ自分で行うことができるが、要介護状態にならないように何らかの支援が必要

※3 排泄・入浴、洗顔、つめ切り等に一部介助又は全介助が必要

多摩市を取り巻く環境等の変化

<人口増減（2010年→2025年）>



郊外部の人口が
減少している一方、
駅周辺の人口が
増加しています。

今後の多摩市

今後の多摩市をまとめると…



<自然環境>

気候変動

自然災害の激甚化

自然環境との共生



<人口動向>

人口減少及び高齢化

健康寿命
都内トップレベル

郊外部の人口減少
駅周辺の人口集積



<財政状況>

公共施設等に関する費用
約530億円以上

市債等（借金）の増加により、
公債費の大幅な増加も

生産年齢人口の減少による
歳入の減少

公共施設をミライにつなぐことが必要

用用 アセットマネジメント計画の骨子



行動プログラムの評価

数値目標(90億円)を設定、各施設を見直し

各施設の見直し時期を市民と共有

「施設総量及び経費の縮減」に強い印象

施設の役割やサービス・機能から見た見直しはされたのか



**時代の変化に柔軟に対応して、
役割機能を発揮できる公共施設へ**

アセットマネジメント計画の骨子

目的

方針

方向性・
手法

取組



令和5年度からスタートした
多摩市の最上位計画

将来都市像

つながり 支え 認め合い
いきいきとかがやけるまち 多摩



計画策定の目的

総合計画を施設政策から支えるため、
アセットマネジメント計画を策定します

目的の実現に向けた方針

持続可能な行財政運営を前提に、
将来ニーズを見据えた公共サービス・機能を展開

方針の3つの柱

1. 市民の健幸※に資する公共サービスを展開
2. 情勢変化に柔軟に対応しながら、公共サービス・施設の最適化を実施
3. 公共施設の更新にかかる負担を次世代に先送りしない行財政運営を推進

※多摩市では、健幸とは「健康」と「幸せ」の両方が備わり、自分らしく毎日いきいきと暮らしている状態」と定義しています（多摩市健幸まちづくり基本方針(令和6年3月改定)）。

目的を実現するための方向性・手法

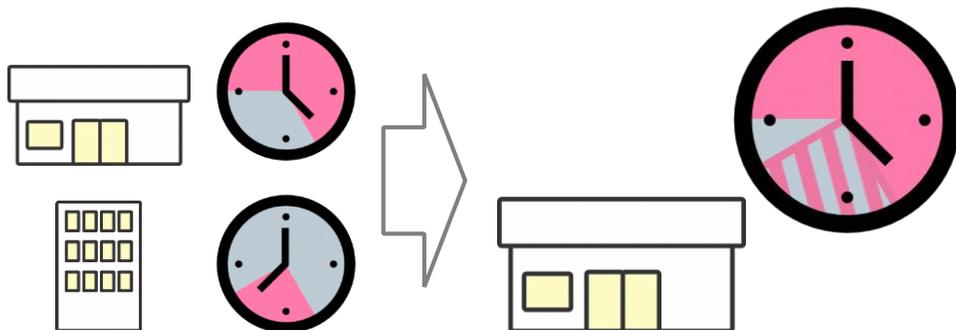
- ・多様な主体が、多様な目的・分野・用途に使える公共施設への転換を進め、公共施設という「場」をシェア
- ・民間企業やNPO、地域住民等が所有・管理する民間施設等と連携・協力し、利用促進や地域活性化などにつなげていく
- ・将来の人口動態、ニーズの予測などを踏まえて、柔軟に対応できるよう、施設等の再編・再整備を検討
- ・確実に財源を確保するため、国都の交付金・補助金の活用、低未利用地の積極的な活用

目指すミライに向けた取組

- 自己所有にこだわらず、民有地・民有施設の借り上げや類似する民間サービス等への転換を検討
- 各地域に所在する民間の集会施設等との連携を検討
- 新たなニーズに応える鉄道駅周辺への集約化・複合化
- 持続可能なまちづくりに向けて、グリーンインフラ等の環境面での展開
- 民間活力の活用や多様な分野との連携
- 市民参加による施設の維持管理・運営
- 社会状況やニーズにあわせて利用方法等の工夫・見直し

例えば…

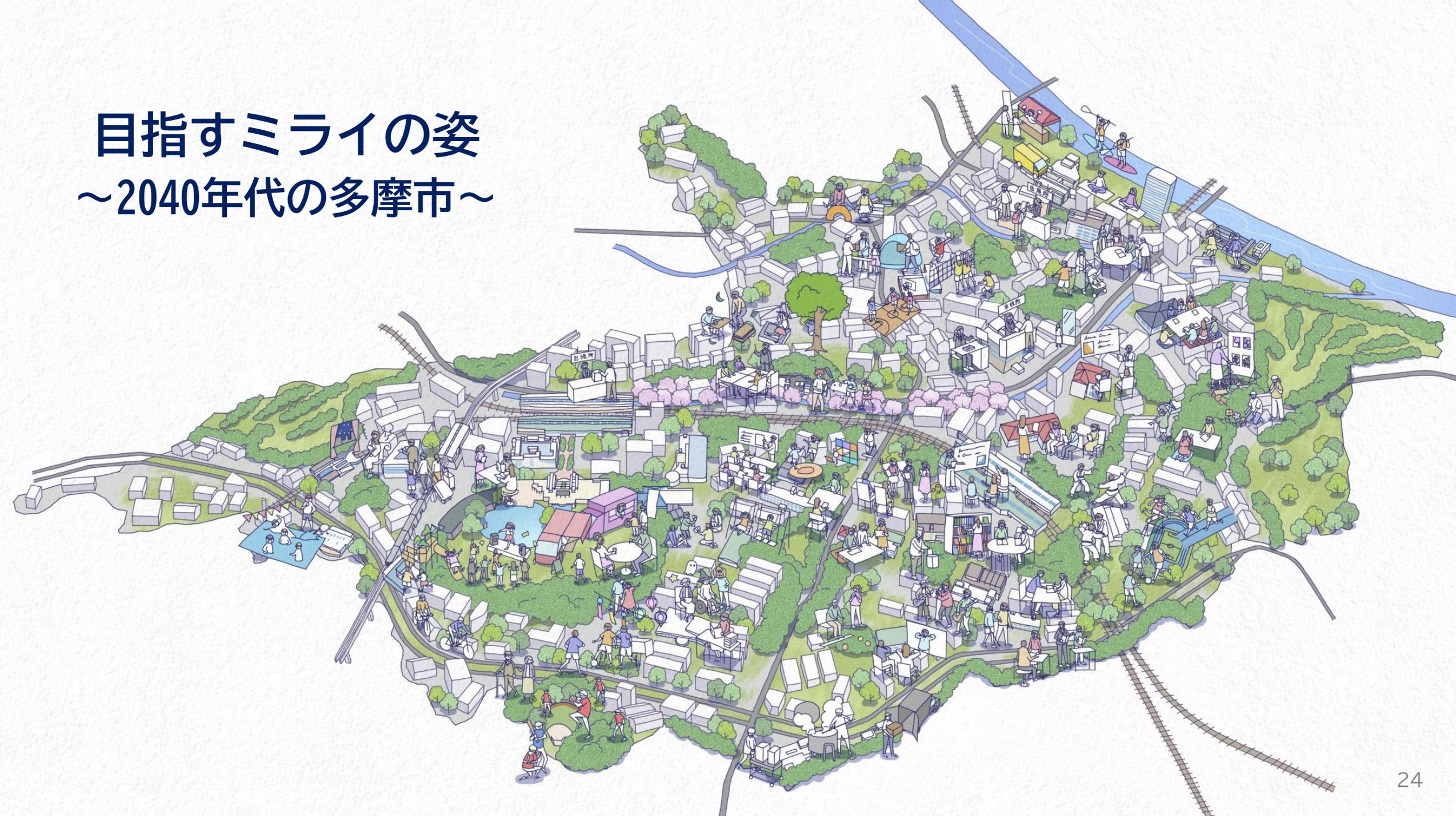
空いている時間を上手に使う



ひとつの建物をみんなで使う



目指すミライの姿 ～2040年代の多摩市～



用用 公共施設をミライにつなぐために



公共施設をミライにつなぐために

公共施設という「場」をシェア

豊ヶ丘・東寺方・諏訪にある複合施設(老人福祉館・地区市民ホール)について、大規模改修等の時期に合わせて、世代を問わず広く利用可能なコミュニティ施設への転換を進めます。



豊ヶ丘テラス 作戦会議 (全3回)



こんなところがあったら、素敵だわ

こんな過ごし方できないかな

これなら ほかでもできそう

東寺方複合施設とは、1階に児童館、2階に図書館、3階に老人福祉館が入る公共施設です

東寺方複合施設の整備に向けた地域協議会 第1回中間報告会

老朽化している東寺方複合施設の整備に向けて、施設利用者や地域住民の15人が地域協議会を設立して、検討を進めています。これまでの2回の会議を通じて「この地域にはどんなサービスや機能が求められているか」を話し合ってきました。第1回中間報告会では、検討の途中経過を地域住民の皆さまへ報告し、今後の施設整備に向けた意見交換ができればと考えています。お申し込みのうえ、ご参加ください。

中高生が
使いたくなる
施設に

様々な世代が
交流できる
工夫を

この施設の
存在を皆に
知ってほしい

看板がない
入りづらい

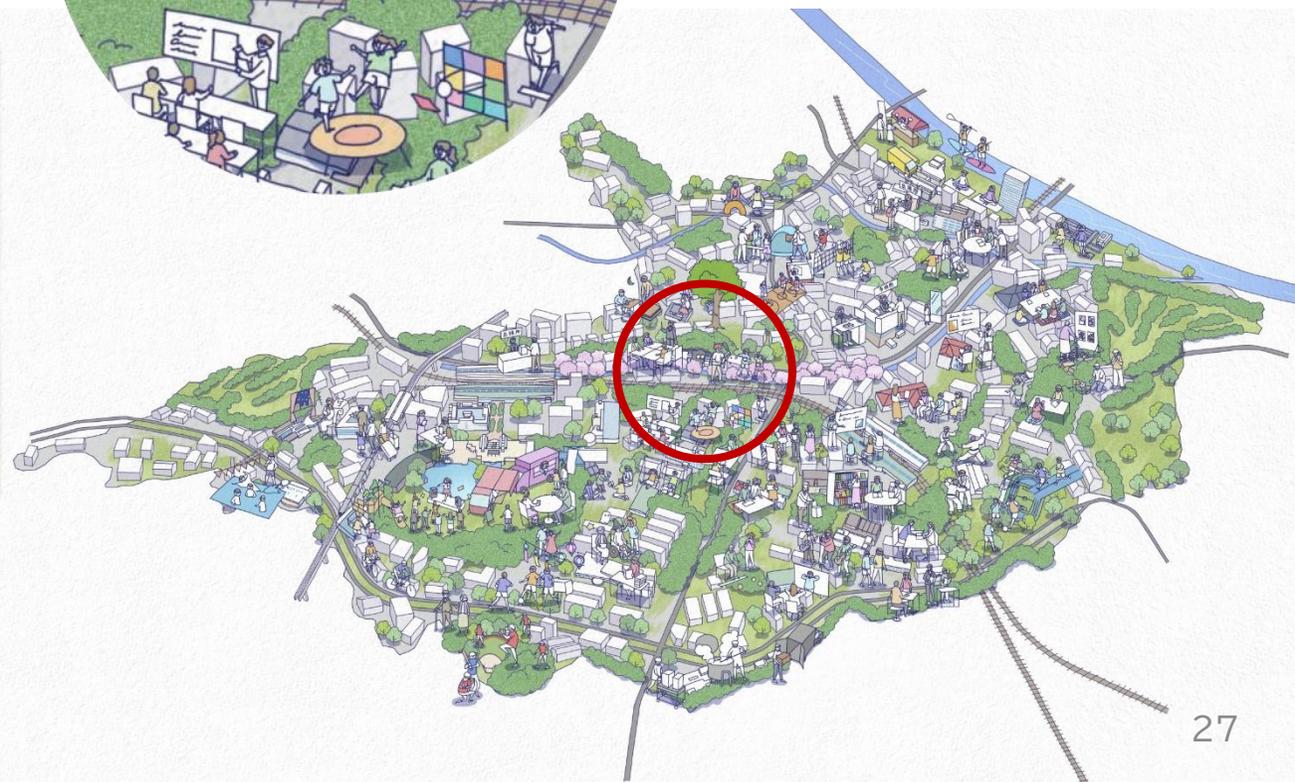


地域住民との意見交換会等のチラシ

公共施設をミライにつなぐために

学校敷地内への複合化を検討

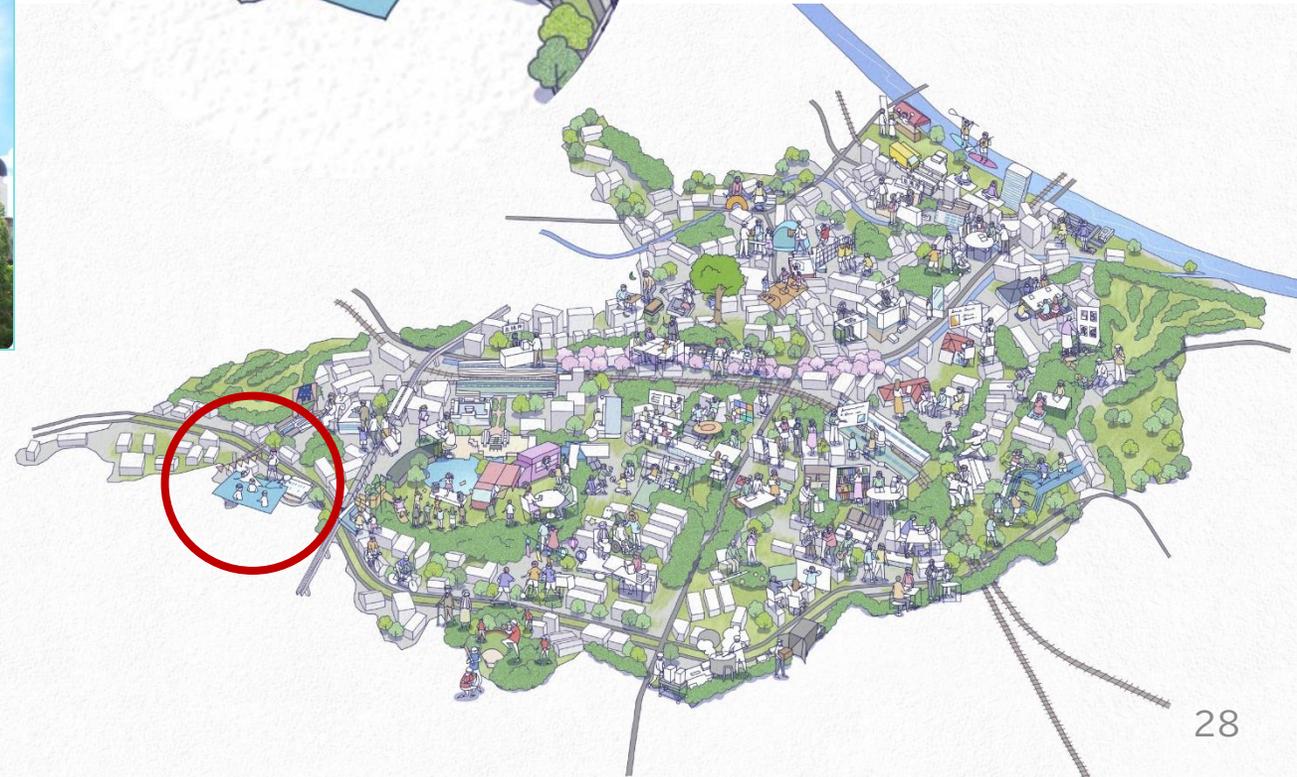
多摩第三小学校の建替えに合わせて、近隣に分散している学童クラブやコミュニティセンターを学校敷地内に一体的に整備することも含めて、検討を進めます。



公共施設をミライにつなぐために

施設等の再編・再整備を検討

多摩清掃工場の新焼却施設の建設時期にあわせて、隣接する総合福祉センターや温水プールの改修内容等について検討を進めます。



アセットマネジメント計画策定に向けた
市民フォーラム

公共施設のミライ

～ミライへつなごう、みんなの公共施設～

